

各部の主要施策紹介

各部ごとに行っている西条市の重要施策について紹介します。また、市の施策と関係する国・県の事業などがあればあわせて紹介します。

No. 4 企画経済部

企画課・産業振興課・観光振興課



企画経済部長
真鍋 和年

活力あるまちづくりに向けて

企画経済部は、西条市が持つ豊かな地域資源を活かしながら、力強い産業の育成を支援し、均衡のとれた活力あるまちをつくるため、様々な施策を展開しています。主な施策をご紹介します。

【合宿都市構想】

石鎚山系を代表とする自然環境、市内各所の体育施設などの地域資源と観光資源を連携させて活用し、合宿誘致による交流人口の拡大、関連産業振興による地域活性化を図ります。また、合宿受入体制を整備することにより、市民の「スポーツ競技力の向上」、「健康増進」事業を展開し、「元氣な人づくり」に取り組みます。

【観光・交流エリアの整備】

財団法人シヨナルトラストの事業で、昨年夏、伊予西条駅東隣に着工した「四国鉄道文化館」を中心に、「十河信二記念館」や「観光交流センター」を整備し、今秋

の3施設同時開館をめざして事業を進めており、駅前の再整備事業と併せて、賑わいのあるエリアを創っていきます。また、これらの施設を活かして、市全域の観光等の活性化にも取り組みます。



▲ 整備が進む「観光・交流エリア」

【行政改革の推進】

社会情勢の変化や多様化する行政需要に対応した簡素で効率的な市政の実現を推進するため策定した「西条市行政改革大綱」に基づく「集中改革プラン」の進行管理を行い、指定管理者制度の導入、行政評価システムの確立など具体的な取り組みを進めます。

【MH冷凍システム】

工場排熱と「うちぬき」の水を利用して冷凍エネルギーを得られるMH冷凍システムは、西条産業情報支援センターの指導により組成した全国初の「LLPトライアウトえひめ」が実用化に向けた研

究開発を行っています。

その成果は、海外の研究者からも高い評価を得ているとともに、独自技術による専用部品の開発、基本設計の完了など実用化が間近に迫り、その有効活用を検討する段階となっています。

そこで、最先端の農業等生産技術をこの地域で獲得し、産業の振興を図るため、産学官の連携によるMH冷凍システムと第一次産業を組み合わせた実験・研究を(財)地域総合整備財団(ふるさと財団)の助成を得て実施します。

【西条市食の創造館】

今年4月1日、壬生川駅隣に整備した「西条市食の創造館」では、食に関する情報の収発信拠点として、食材のPR、食関連地場産業の育成、食育を行っています。

○情報の発信

地元加工食品や他市開発加工食品、全国からのおいしいものを取り寄せ品の展示販売や、食の創造館のホームページ・展示室での食に関する情報提供を行っています。

○商品の開発

地元産品を活用した商品開発の相談や食のインキュベーター室における開発場所の提供を行い、地場産業の育成を図っています。

○料理教室の開催

地元産品を使った地元料理人による料理教室や親子料理教室、有名料理人による料理教室等を開催し、食文化の向上を図っています。



▲ 食の情報収発信拠点
「食の創造館」

【まつりの観光ブランド化】

今年度から、西条まつりと新居浜太鼓祭りを愛媛ブランドの祭りとして全国に情報発信し、観光客や宿泊客の増加と地元への経済効果をもたらす新しい施策を愛媛県・西条市・新居浜市が連携して取り組みます。

この施策においては、

- ①観光客が安心して祭りを楽しめる受入体制と環境の整備
 - ②全国的な知名度向上を図るためのPR資料の作成と効果的な情報発信・誘客活動の展開
 - ③旅行代理店等に対して祭りの魅力を十分にアピールし、ツアー等の旅行商品の造成を促進
 - ④旅行専門家の助言・指導により、西条まつり・新居浜太鼓祭りを観光ブランド化する方策の検討
- の4事業を柱に進めていきます。